令和6年度 岩手県立盛岡北高等学校
第3回学校運営協議会（コミュニティ・スクール）会議録

1 日時 令和7年2月20日（木）15:20～16:30

2 場所 本校南講義室

3 出席者

学校運営協議会

森 英記（会長） 野原 勝博 晴山 雄太 中村 直紀 坂本 斉
阿部 牧子

本校教職員

嶋 隆（校長） 五十嵐忠義（副校長） 堀井祐輔（事務長）
田中基（総務主任） 高橋史顕（教務主任） 平野利浩（生徒指導主事）
田上洋一（進路指導主事） 中島美名子（保健主事）
高見延也（図書視聴覚主任） 小田嶋萌生（総務記録）

4 次第

- (1) 学校運営協議会会長挨拶
- (2) 校長挨拶
- (3) 協議

ア 本校生徒の活動報告及び学校評価アンケート結果について

イ 本年度の学校経営計画の成果・反省について

- (4) 学校運営協議会委員よりご提言

5 記録

○学校運営協議会会長挨拶

創立50周年事業の海外派遣事業において事故やけが等がないように帰宅することを願っている。学校に限ったことではないが、今年度実施してきたことをブラッシュアップしていく姿勢が大事である。

○校長挨拶

- ・50周年記念誌の今後の計画について
- ・生徒の今後の日程について
- ・高校入試（特色入試の大まかな内容、調整期間後の倍率）について

○協議

ア 本校生徒の活動報告及び学校評価アンケート結果について

令和6年度本校生徒の活動について資料を配付し、副校長から生徒の部活動等の報告をした。また、保護者と生徒対象に2月上旬に実施した学校評価アンケートの集計結果についての報告をした。

イ 本年度の学校経営計画の成果・反省について

本年度の学校経営計画の成果と反省について各分掌主任から報告をした。

ウ その他

特になし

○学校運営協議会委員よりご提言

- ① ハード整備については予算面等仕方ない部分がある。ソフト整備については頑張りが見える。気になったのは、アンケートで保護者と生徒の差がある。保護者にも事務連絡だけでなく簡単な情報も発信（noteの更新通知）するなど工夫が必要だと感じる。
- ② 学校評価の「子どもを北高に入学させて良かったか」の項目の否定的評価の回答は少ないものの、その理由が気になるところである。また、トイレの改修工事（ハード面）を良くできるように協力したい。
- ③ 自転車事故が多くなっていることについて減らしていけるようにしてほしい。いじめについては認知するだけでなく、いじめ自体を減らせるように工夫が必要だと感じる。
- ④ りんりん舎、フードバンク活動等のボランティア活動に多数の盛岡北高校の生徒さんに協力をいただいた。フードポストに入れるだけでもボランティア活動になることを伝えてもらうことで、進路指導にも繋がると考える。
- ⑤ 子どもが保護者と話す機会が非常に多いことを実感した。いじめアンケート等で丁寧に関わることも大事だが、日常における小さな変化に気づくなど教員のスキルアップが今後の予防等に繋がる。わかる授業について、否定的な評価を付ける生徒もいるため、教員が研鑽を積むことが必要であると感じる。
- ⑥ 学校評価アンケートを5択にすると数字が大きく変わるのではないか。部活において、部員がいなくなった時点で部活をなくすなど整理していくことが必要な時代になっている。自転車事故についてヘルメットの着用を促すなど安全に努めていただきたい。